

研究優秀な2人に 安達峰一郎記念賞

都内で贈賞式

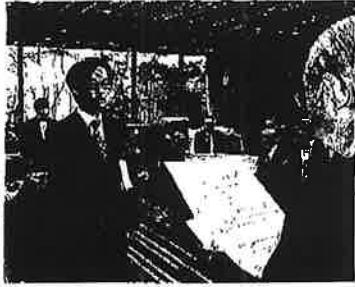
国際法に関する優秀な研究業績を上げた個人を表彰する安達峰一郎記念賞の贈賞式が6日、東京・一ツ橋の如水会館で行われた。

山辺町出身の国際法学者、安達峰一郎の偉業を後世に伝え、有為な国際的人

材を養成する目的で設立された安達峰一郎記念財団（鈴木正實理事長）が1968（昭和43）年から贈っている。56回目。

今年は、出版著書が国際法の専門家らで組織する選考会で高い評価を受けた千葉大大学院社会科学研究所の藤沢敏教授と、横浜市立大国際教養学部の高橋力也准教授の2人が受賞した。

贈賞式には、国際法学会などから関係者約30人が出席。鈴木理事長は「今後も国際社会に貢献する人材の養成に取り組んでいく」と



国際法に関する優秀な研究業績を上げた2人を表彰した安達峰一郎記念賞の贈賞式

＝東京・一ツ橋

あいさつし、表彰状などを手渡した。受賞者は「戦前の日本の外交や国際法の発展を語る上で、安達博士は極めて重要な人物」「研究でもほとんど資料が残っていない外交官たち個人の言動を知る上で、安達博士が残した書簡が唯一の手掛かりになることも多々あった」などと謝辞を述べた。
（坂本由美子）